



ネットショッピングの商品比較効率化を図る 最新検索システムに関する研究

情報システム学部 情報セキュリティ学科
チャットウィチェンチャイ・ソムチャイ 教授

近年、インターネットの普及に伴い、ショッピングサイトやサイト掲載出品数が増加しています。その状況の中、消費者がショッピングサイトの商品を一括して検索・比較し、欲しい商品の最安値を探することができる価格.com や比較.com 等の商品比較サイトの重要性がより一層増加しています。しかし、商品比較サイトには次の2つの重大な問題があります。1つ目は、商品比較サイトに登録されている商品数が一般のショッピングサイト（Yahoo!ショッピングや楽天市場等）よりも少ないため、探している商品が見つからない恐れがあるという問題です。2つ目は、商品比較サイトの商品情報が必ずしも最新ではないという問題です。例えば、販売停止により一般のショッピングサイトには掲載されなくなった商品が、商品比較サイトには掲載され続けていることがあります。この2つの問題を解決するために、本研究では、商品比較を容易にするインターフェイスを備えた最新の検索システムの開発を目指しました。

図1は、このシステム動作の流れを示したものです。ユーザーが商品の検索条件を指定すると、システムは楽天市場等のサイト専用のウェブサービスを通じてサーバーに検索リクエストを送信します。各サイトのサーバーから商品情報を取得した後、Excelの表に格納し、図2のように表示します。ユーザーは、データの並べ替えやフィルタリング等のExcelの標準機能を使うことで、商品価格やレビュー評価、送料、獲得予定ポイント等の商品情報の並べ替えや絞り込みを簡単に行い、商品を効率よく比較することができます。ユーザーは購入する商品を決めると、表内にある商品の写真をクリックして商品のウェブページを表示し、購入することができます。商品検索時間の計測実験では、楽天市場等のショッピングサイトにおいて、従来のウェブブラウザを使った検索時間に比べ、約70%もの検索時間の短縮に成功しました。

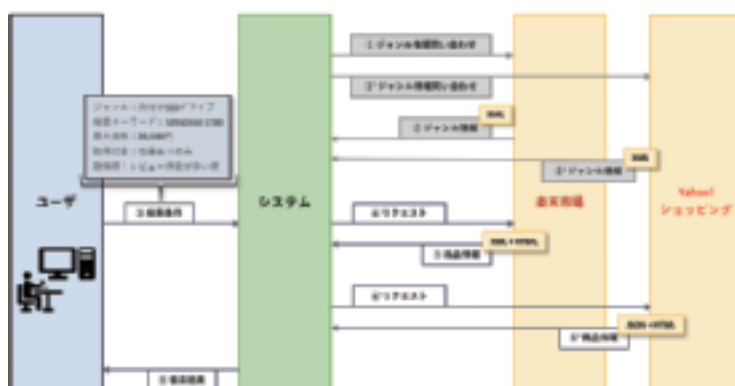


図1 システム動作の流れ

図2 本システムが表示した商品検索結果の例

出典:2020年度卒業論文 長崎県立大学情報セキュリティ学科(ソムチャイ研究室)板倉大和